

林 声



岡山県マスコット うらっちとももち

No.421. 2012. 1. 1

「白石島」(笠岡市) の紹介

国際森林年・日本のテーマ「森を歩く」。今回はハイキングコースを歩き、多島美と巨岩・奇石を楽しむことのできる「白石島」を紹介します。



白石島は、笠岡港から南に12km、高速船で22分の距離にあり、その名のとおり「白い石」(花崗岩)の島です。

瀬戸内海国立公園及び国の名勝に指定されており、ウバメガシ・アカマツを主体とした森林に全長7kmにおよぶ遊歩道が整備されています。

応神山山頂展望台から福山方面を望む



巨石の間を縫うように走る遊歩道

応神山(標高 150m) 山頂の展望台からは、笠岡諸島の多島美と共に、遠くは大山、石鎚山を望むことができる日もあります。

また、遊歩道沿いには国指定天然記念物「鎧岩」をはじめとした巨岩・奇石もあり、ハイキングをより楽しくしてくれます。

森林の名称 白石島(しらいしじま)
 アクセス 笠岡港から高速船で22分
 標 高 約 170m
 瀬戸内海国立公園(1934年)
 国指定名勝(1943年)
 おかやまの自然百選(2002年)

目 次

新年あいさつ	2
特 集	3
普及情報	5
山仕事の道具	6
研究だより	7
研修会参加報告、防ごう労働災害	8
お知らせ	9

新年のごあいさつ



岡山県林業
改良普及協会
会長
井手紘一郎

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、輝かしい新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

平素から当協会の運営につきま
しては、格別のご支援、ご協力を
賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、震災・台風災害や急激
な円高の影響など、我が国にとつ
て激動の一年でありました。

こうした中、国では、10年後の
国産材自給率50%を目指した「森
林・林業再生プラン」を実現する
ため、新たな森林・林業基本計画
が決定され、森林施業の集約化や
路網の整備など、新しい施策が動
き始めました。林業普及指導につ
きましては、市町村森林整備計画

の策定など、現場の活動を支援す
る人材である、日本型フォレス
ターを育成するため、准フォレス
ター研修が実施されています。

さらに、昨年末には、第三次補
正予算として「森林整備加速化・
林業再生事業」の3年間延長が決
定され、積極的な事業推進が、大
いに期待されているところです。

また、岡山県では、このほど県
政の総合計画である「第3次おか
やま夢づくりプラン」を策定し、
県産材の需要拡大、林業生産性の
向上、「力強い」担い手の育成対
策などを盛り込んでおられ、持続
可能な魅力ある林業の実現に向け
て、大変心強く感じております。

さて、当協会は475名の会員
の皆様にご協力いただきながら運
営しておりますが、昨年も林研グ
ループ交換研修大会を開催したほ
か、全国林業研究グループ協議事
業を活用した高校生に対するイン
ターンシップ（林業就業体験）の
実施及び林研グループ会員の林業
教室の開催を支援してまいりまし
た。特に、交換研修大会には、63
名もの関係者の出席があり、大変

熱心に意見交換等をしていただき
ました。とりわけ、森林資源量調
査についての活動発表をしていた
だいた「真庭森林・林業研究会」
の皆さんには、その後の中四国ブ
ロック大会で最優秀を受賞され、
2月の全国大会においても健闘が
期待されています。

また、昨年は、国連の定める
「国際森林年」であり、「森林を
歩く」をテーマに、身近なことか
ら始める活動が推進されました。
本誌でも、この国際森林年を表紙
テーマに、「森を歩く」にふさわ
しい県内の名所・景勝を紹介しま
した。当協会のキャンペーンス
タッフである「おかやま森の大
使」も、昨年中21回の各種イベン
トに参加し、森林に対する理解を
深めようと取り組んでまいりまし
た。

本年も、森づくりへの意欲が一
層喚起され、産業としての林業が
活力を増していくよう、県・市町
村・林業事業体など関係機関等と
連携を図りながら、本県の林業経
営の改良と林業技術の普及を図
り、地域林業の振興に寄与してま

いる所存であります。

会員の皆様の一層のご支援、ご
協力をお願いいたしますととも
に、それぞれの分野でますますの
ご活躍をお祈り申し上げます。新
年のごあいさつとさせていただきます。

迎春
辰



緑豊かな未来のために

水源林造成

独立行政法人 森林総合研究所
森林農地整備センター中国四国整備局

〒700-0907 岡山市北区下石井2丁目1番3号
岡山第一生命ビルディング7階
TEL (086) 226-3295 FAX (086) 231-6344

特集 「がんばる森林組合④」

久米郡森林組合の紹介

津山普及指導区

一 はじめに

久米郡森林組合は、平成 8 年 10 月 1 日に津山地域の中央町、旭町、柵原町、久米南町、久米町の五つの森林組合が広域合併し、設立した森林組合です。現在の活動状況、今後の展開について、特



森谷業務課長

に、森林計画制度が大きく変わる来年度に向けた取組を、久米郡森林組合の森谷業務課長にお聞き

二 インタビュー

現在の事業活動の状況は？

事業は指導、販売、森林整備の 3 部門に分かれ、中でも間伐を中心とした造林事業や松くい虫被害木の伐倒駆除事業等の森林整備部門が大部分を占めています。

販売部門では、杉・桧の原木丸

太等の系統販売を推進し、久米郡地域内の林業振興を目的とした優良材展示コンクールを開催しています。

指導部門では各種研修を通じた若年フォレストの育成に力を入れるとともに、地域の森林・林業について理解を深めてもらうため、地元中学生の職場体験学習を定期的に受け入れています。



職場体験学習

重点的な取組みについて

平成 20 年度から美咲町両山寺地内（旧中央町内）において低コストモデル団地設置事業に取り組み、施業集約化を実施しました。

事業終了後も森林所有者への働きかけを継続的に行い、施業区域の拡大を図っています。こうした、集約化の取組を他の地域でも推進するため、組合広報誌、地区座談会を通して地道な受注活動を行っています。

今後の事業展開について

森林・林業再生プランの実現に向け、持続的な森林経営と計画的な施業実行が求められています。これまで取り組んできた低コストモデル団地での実践をさらに波及させていくことが重要と考えており、総代会等を通じ新たな計画及び補助制度の周知と不在村森林所有者を含めた関係者への働きかけを総力を挙げて行っています。




説明会の開催

三 おわりに

地域の条件を踏まえた集約化による計画的な森林施業の定着が図られるように、情報収集に努めながら普及指導員として支援していきたいと考えています。

（林業普及指導員 本田尊大）

公園・街路修景施設の設計・製作・施工
 その他木製品の注文承ります 水を活かす



株式会社 フォレスト

〒703-8266 岡山市中区湊 125 番地 2
 TEL.086-277-7770 FAX.086-277-6003

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
 総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳 46-104
 TEL 岡山(086)805-7033(代)



倉敷普及指導区

一 はじめに

「世界で木材が好きでない人がいるでしょうか？」と岡山県立大学デザイン工学科岩本弘光教授の開口で、平成 23 年 9 月 3 日、備中地域木材需要拡大推進会議主催の「木造建築物のこれからを考える講演会」が始まりました。この講演会は、公共建築物等木材利用促進法の施行に伴い開催したもので、建築士、建設業者、林業・木材産業関係者 100 名余りが参加しました。

このように倉敷市を中心とした木材の利用者を多く抱える普及指導区として、県産材の需要拡大の推進に取り組んでいます。

二 木材の良さ

冒頭の質問の答えは、世界の歴史建造物における木の利用のさから、人間は普遍的に木材を好むといえるとのことでした。

「木造校舎の教育環境―校舎の

建築材料が子ども・教師・教育活動に及ぼす影響―（財）日本住宅・木材技術センター）」では、学校施設における木材利用は、子どものストレスを緩和させ、授業での集中力が増す効果がある、という結果が出ており、木材は教育環境には適しているといえます。



昨年 11 月に完成した早島中学校の渡り廊下とウッドデッキ

三 木材を利用する側から

(一) 費用とのバランス

公共建築物等木材利用促進法の実効性を確保するため、市町村の建築担当者と話す機会が増え、「木材を使いたいのだが、経済性を追求されると」「外材と県産材の価格を比較すると」「木材は維持管理経費がかかるから」等の意見とともに、木造教育施設の新設に向けて、「木材を使って賢いな」と批判される意見があること

も聞きました。

つまり、木材が良いことはもちろん分かっているが、費用の面での理解が得られていないということだと思います。これは食べ物に例えれば、少々値段が高くとも安全・安心なものを選択するのと同じで、より良い素材で建築することは理解されますが、どの程度の費用差なら許容されるかのバランスです。

(二) 求められる木材の情報共有

講演会の講師や建築士との話の中でよく、「JAS 製品の製材は」「木材の価格は」「安定供給は可能か」等の川上側への質問を投げかけられます。つまり、そのような木材に関する情報が川上・川下側が共有できていないことがわかり、改善が必要です。

(三) 木材とふれあう機会の減少

木材の主要な需要は住宅であることは言うまでもありません。しかし、一生のうち住宅を建築する機会は自家用車を買うのとは違い、一回あるかないかです。そして、その際の選択肢に木造住宅が入り、さらにその中で最終的に選び抜かれる必要があります。一方、一旦家を出てから木材と触れ合う機会を、思い浮かべてみると

ほとんど失われていることに気がつきます。

このように、木に触れ合う機会が失われつつある現在、木材のよ



と丸太の PR 対する強い思いを持ち、木材の利用を進める応援団となり得るでしょうか。

四 おわりに

改めて県産材の需要拡大に向けて、課題解決の必要性を感じておりますが、まずは、幼稚園、保育所、学校、老人ホーム等の公共建築物が、利用者が心地よいと感じる木造施設となり、快適な空間が提供できるよう取り組んでいかなければなりません。木材とふれあう機会を増やすことにより、木材は良いもので利用すべきという応援団が拡がり、ひいては木材の需要拡大に、また、森林・林業の再生に結びつくものと確信しております。

(林業普及指導員 谷 智仁)

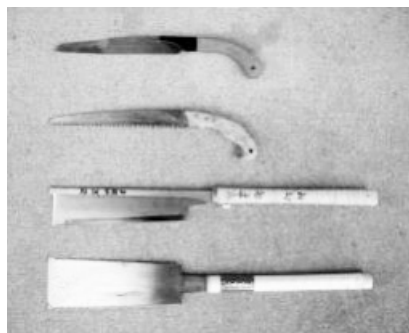
山仕事の道具④

■手のこ

林業用の手持ち道具としては、鉈と同様、林業の現場で使用されることの多い道具です。特に除伐や枝打ち作業では必要な道具です。そこで、手のこの安全な取扱いとメンテナンスについて紹介します。

一 手のこの取扱い

造林作業の現場で鉈で切るには太すぎたり、枝が高くて手が届かない時などに、手打ちのこは便利です。鉈のように振り回さないので、けがの心配が少なくなるのが利点です。



また、枝打ちを行う場合、切断位置が正確で、幹に傷をつけるこ

とはありません。一本の枝を落とすのに、鉈や斧でたたく動作に比べて鉈をひく回数は多いので、時間は少し多くかかりますが、疲れは少なく、長時間仕事をする場合、トータルとしての作業効率が高くなります。

二 取扱いの基本

手のこの取扱いで注意することは、手のこは引くときに切れるようになっているので、引くときに力を入れ、押すときには力を入れずに戻します。細い木や枝等を切るときは、片手で動かないように固定して切ります。太めの木を切るときは、受口、追口を入れ、両手で手のこを持って切ります。切る木に荷重などがかかって曲げられているときは、曲がっている内側に少し切れ目を入れ、反対側から切ります。木の急な裂け、跳ね返りを防ぐことができ、手のこが木に挟まれるのも防げます。

なお、腰ベルトなどに下げておくと、藪などに手のこケースが引っかかることがあるので、引っかからないよう注意して歩きます。

三 手のこの目立て

手のこは、切れ味が落ちたら刃

を交換する替刃式のものもありますが、交換できない手のこの場合はヤスリで目立てを行います。

造林作業で使用する手のこには、除伐等に使う普通刃と枝打ちに使う改良刃がありますが、ここでは30^ミ程度の手のこ(普通刃)を例に説明します。

準備するヤスリは、大きいヤスリ(150^ミ程度)と小さいヤスリ(75^ミ程度)の二本用意します。大きいヤスリは横刃(上刃、下刃)、小さいヤスリは上目をつけるときに使います。

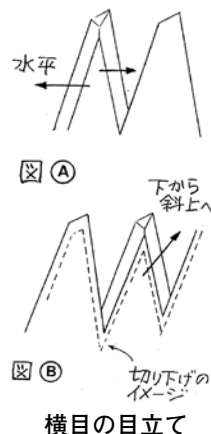
まずは手のこをバイス等でしっかりと固定し、ヤスリを刃の面に正確に合わせて目立てをします。

擦るときは、ヤスリ、手、腕が一直線になるように持ち、擦る刃の面に沿って平行に押し、むやみに力を入れないで軽く押しして擦り、引くときには擦らないようにします。

刃の目立ての順序は、大きいヤスリで、すべての表側、裏側の横刃の目立てを行います。上刃、下刃どちらから擦ってもかまいません。

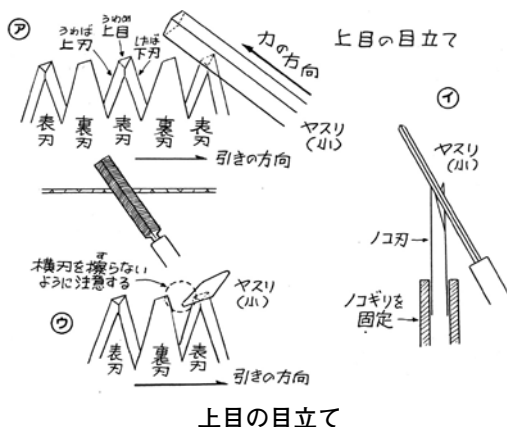
上目が擦りこまれてきたときは、横刃をつけながら、同時にヤスリの角を使って、表刃、裏刃の

基部をV型に擦り下げ、刃の高さ、形状を調整し直します。



横刃が擦り終わったら、小さいヤスリを使って、上目の角度に合わせてヤスリ面をあて、下から斜め上に向けて押し上げます。

同じ側にある上目の高さ、角度、形状がそろうように目立てした後、反対側を行います。



目立てが完了したら、仕上げに錆びないように、ミシン油などの機械油を薄く塗っておきます。

(普及推進課 林業普及推進班)

研究だより

チェーンソーを使った原木栽培

森林研究所 林業研究室
専門研究員 藤原 直哉

一 はじめに

きのこの原木栽培といえば、原木を山から伐り出し、玉切った後、ドリルで孔を開け、そこに種菌を打ち込む作業を思い浮かべます。

これら一連の作業は、かなりの重労働です。そこで森林研究所では、玉切りや原木の移動を省略し、チェーンソーで切削した溝に接種する省力的な原木栽培の研究に取り組んでいます。

二 研究の背景

元々、「長木栽培」と言って、伐倒した原木に接種するナメコの栽培方法がありました。また、玉切った原木に種菌を接種し、葉のついた枝を掛けることで日陰を作り、そのまま山に伏せ込むシイタケの栽培方法（そだ伏せ）もありました。通常接種孔を開けるには、発電機と電動ドリルを使います。

森林研究所では、前述の「長木栽培」と「そだ伏せ」、また「短木栽培」など既存の方法をミックスさせた新たな「倒木接種法（仮称）」を開発することにしました。

三 栽培方法

平成 22 年の秋に、所内のコナラ、サクラなど広葉樹を根元から伐倒しました。翌年の春、枝を落とし、倒木の幹にチェーンソーを使って、等間隔で根元から枝先まで、切れ込みを入れて溝を付けました。短木栽培では、完全に切り離してしまいましたが、ここでは溝の深さを、直径の半分程度まで控え目にしておきます。この溝に、種駒を 3 ～ 5 センチメートル間隔で打ち込みました。この時、チェーンソーで切削した溝の幅より、少し大きめの種駒を使うと、うまく種駒が入ります。この後、溝をガムテープで被覆し、乾燥や害虫から種菌を守ることにより、菌糸を溝全体に感染させることができま

す。原木は、上に枝を幾重にも被せて直射日光を抑制し、そだ伏せとしました。

コ、アラゲキクラゲを中心に接種し、春から冬まで、その後の経過を観察しています。

四 結果

接種したシイタケ、ナメコ、アラゲキクラゲ全てのきのこが、接種当年の秋～冬に、溝から発生しました。特に感染力の強いアラゲキクラゲは、9 月中旬から、アカメガシワの至る所から発生し、大成功でした。シイタケは、12 月初旬に発生しました（写真 1）、菌糸の蔓延状況から、来年の春以降、発生が期待できました。

ナメコは、害虫の発生が確認されたものの、11 月末に溝から発生しました（写真 2）。いずれのきのこも、今後数年間は、発生が続くと思われます。

平成 16 年の台風被害跡地には、現在、パイオニア植物としてアカメガシワをはじめ、多くの広葉樹が生育し始めています。今回の事例から、このような立地条件で天然更新してきた広葉樹も、きのこ栽培に利用できそうです。

また、除間伐したヒノキやスギも、その場で朽ちさせるのではな

く、ナメコ栽培に利用できる可能性が出てきました。何より、原木の運搬作業が無いため、きのこ栽培の入門編としても適した技術と言えます。短所として、一部に害虫の発生がみられることや、トビムシの被害を受けやすいことが確認されましたが、今後も収量、害虫・害虫等の調査を続け、実用化を図ります。



写真 1 シイタケの発生状況



写真 2 溝から発生したナメコ

全国林業グループリーダー研修会参加報告

「地域にあった知恵を出そう」

美作林業研究会会長 春名 明



「第52回全国林業グループリーダー研修会」に美作林業研究会の春名明会長が出席されました。（写真前列真中）この研修会は、平成23年10月17日から19日まで東京都内の「国立オリニピック記念青少年総合センター」で開催されたものです。春名会長に話を伺いましたのでお伝えします。

出席者は北海道から九州まで17人で、各地域の林研のリーダーの方々だった。1日目は午後から始まり、4班に分かれて「これからの森林・林業とグループ活動」について討議をした。各班とも境界、間伐、意欲の減退、獣害、ナラ枯れ等身近で同じような悩みについて話された。そういつた中でそれぞれ工夫し、また、明るい話題や夢についても語られた。

美作林業研究会では、ヒノキの切り捨てられた間伐材を、皮をはいでカキ筏用に揃え、流通に乗せている事例を紹介した。その晩は懇親会があり、親しく全国の林研の仲間と話げできた。

2日目は埼玉県飯能市での「地域連携による西川材の付加価値向上を目指して」と東京都青梅市での「都市と山村の交流による森林の保全と活用―フォレスト・ガーディアン制度―」について現地見学と討議を行った。

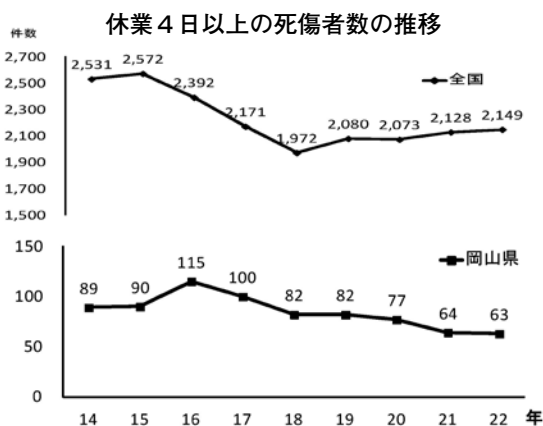
最終日は栃木県の林業家から「持続的林業経営と後継者問題」について、また長野県から「森林・林業再生プラン」について講義があった。それから「私たちのグループ活動の課題とこれからの林研活動のあり方について」各自の意見発表も行った。

これら充実した研修を受けて、各地の取り組みを参考にし、自分たちの地域にあった活動内容を決めなければならぬとともに、私たちの森林は管理するだけではなく、地域や生活の中で活かしていかなければならないと考えた。

（林業普及推進班 大森章生）

「防ごう労働災害」

林業労働災害の発生については、次表のとおり全国では減少傾向で推移した時期を経て、最近の間伐量の増加等もあってやや増加しています。岡山県では台風23号により甚大な風倒木被害が発生した平成16年～17年にピークを迎え、その後減少傾向にあります。緊急雇用等により新規就業者も増加しており、林業労働災害のさらなる増加が危惧されます。



（厚労省「労働災害動向調査」）

全国の死亡災害を作業別で見ると、伐倒時が34人と大半を占め、かかり木の不適切な処理が依然とし

て多くなっていますが、岡山県では幸いにも発生していません。

作業種	全国	岡山県
伐倒作業中	34	0
造材作業中	6	0
集材作業	8	0
造林作業	5	0
林道・作業道	2	0
その他	2	0
交通事故	2	0
計	59	0

（厚労省「労働災害発生状況」、林野庁調査）

県では、林業・木材製造業労働災害防止協会岡山県支部と連携を図りながら、安全衛生指導員による作業現場への巡回指導や、振動障害予防対策、実技研修会などを行うとともに、安全作業を行うための器具等の導入助成などの労働災害防止対策を行っています。

各事業体におかれましても、新規就業者への安全教育や安全関係の会議などにおける安全管理体制や災害防止対策の指導を充実させるなど、林業労働災害の未然防止を図っていただきますようお願いいたします。

（林政課林業木材班）



講習会等の開催 (1~3月)

● 小型移動式クレーン運転講習

岡山 2月16・17日

津山 2月27・28日

● 玉掛け講習 (未経験者)

岡山 1月12・13日

2月9・10日

3月1・2日

玉野 2月20・21日

津山 2月23・24日

◇ 問合せ先

(社) 岡山県労働基準協会

(086) 225-3571

● 移動式クレーン運転士免許試験

1月16日・3月5日

◇ 問合せ先

中国四国安全衛生技術センター

(084) 954-4661

● はい作業主任者講習

倉敷 1月12・13日

◇ 問合せ先

陸上貨物運送事業労働災害防止

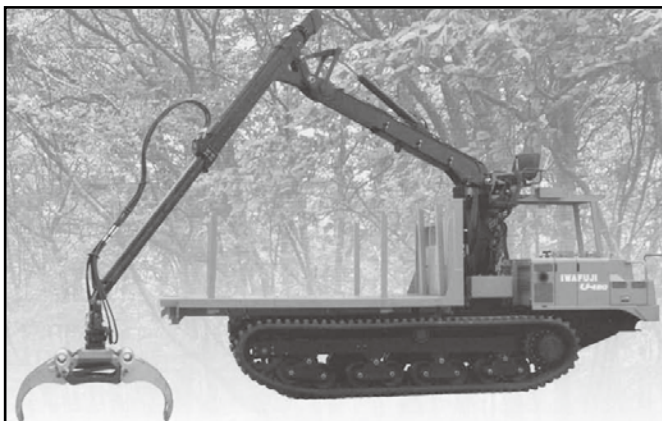
協会 岡山県支部

(086) 234-1332



森林林業関係イベント参加者募集中

実施年月日	開催場所	イベントの名称	問い合わせ・申し込み先
1.15 (日) 9:00~12:30	樺の杜 (井原市門田町地内)	樺の杜塾・第141回杜の市 (特産品の販売など)	樺の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
1.27 (金) ~ 29 (日) 10:00~22:00	イオンモール倉敷セントラルコート (倉敷市水江)	ふれあい木材展 (木製品の展示・販売、木質バイオマス関係展示等)	(社)岡山県木材組合連合会 TEL 086-231-6677
1.28 (土) 10:00~12:00	おかやま共生の森・井原 (井原市西江原町地内)	第3回保育のつどい (間伐)	井原市森林組合 TEL 0866-72-0161
2.2 (木)	久世エスパスホール (真庭市鍋屋)	いきいき農林業者つどい	真庭市役所 農林振興課 TEL 0867-42-1031
2.9 (木) 13:00~15:10	グリーンヒルズ津山 リージョンセンター (津山市大田)	森林研究所研究成果発表会	森林研究所 TEL 0868-38-3151
2.19 (日) 9:00~12:30	樺の杜 (井原市門田町地内)	樺の杜塾・第142回杜の市 (特産品の販売など)	樺の杜塾 塾長 田村駿逸 TEL 0866-62-8614
2.25 (土)	長船美しい森・瀬戸内市 (瀬戸内市長船町磯上地内)	第3回感謝の森つどい (樹木の観察・名札付け、きのこの植菌体験)	岡山地域美しい森づくりの会 三恭コンサルタント(株)内 TEL 086-253-4421
2.25 (土)	おかやま共生の森・柵原 (美咲町書副地内)	第2回保育のつどい (間伐)	久米郡森林組合 TEL 0868-66-0053
3月上旬	勝山木材ふれあい会館 (真庭市三田)	第3回杜人 in まにわ木工教室	真庭森林組合 TEL 0867-44-3036



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL (0868) 23-2255

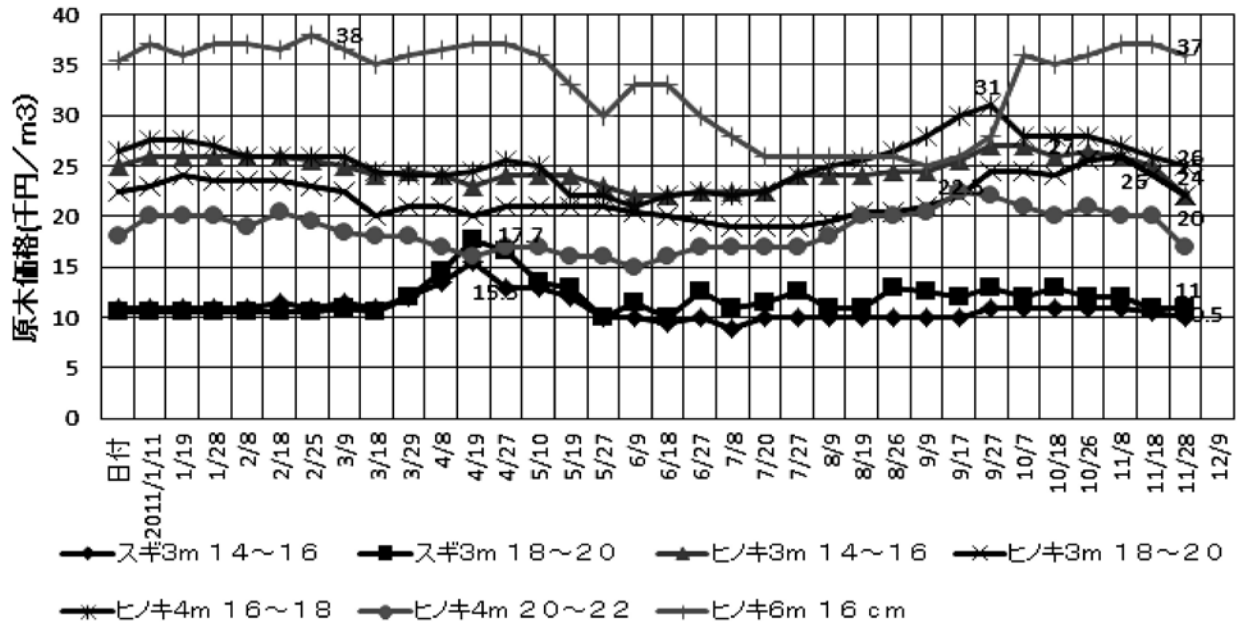
<http://www.mitsuyoshi.com/>



林産物市況



平成 23 年 県森連勝山木材共販所の原木価格の年間推移
(中値価格)



製材 (12月中旬)

樹種	寸法	等級	区分	安値~高値
スギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	35,000~40,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000~55,000
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	G	30,000~35,000
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000~55,000
マツ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	特等	K	60,000~65,000
		特等	K	60,000~63,000
米マツ	平角 3 m, 4 m 10.5×15~21cm	一等	G	35,000~40,000
		一等	K	60,000~65,000
北洋アカマツ	正角 3 m, 4 m 10.5cm角	特等	G	45,000~48,000
ホワイトウッド	平角 3 m, 4 m 10.5×15~21cm	特等	G	45,000~48,000
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	61,000~71,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	48,000~55,000

注：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

木材共販日のご案内 岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

- 1/11 初市
(水) <勝山・津山共販所>
- 1/13 初市
(金) <新見共販所>
- 2/17 久米郡森林組合林業祭
(金) <津山共販所>

◆各共販所とも多くの出材をお待ちしております



「緑の募金」 ご協力をお願いします

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

緑の募金でふせごう地球温暖化

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

(社)岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町 1-8 TEL・FAX (086) 221-9511

サンケイの松くい虫防除薬剤

多目的使用（空中散布・地上散布）ができる

スミパイン[®] 乳剤・MC

頼れる松枯れ防止用散布剤

モリエート[®] SC

ナラ枯れ予防用樹幹注入剤

ウッドキング[®] SP

伐倒木用くん蒸処理剤

キルパー[®] 40

伐倒駆除剤

パインサイド[®] S油剤D

樹幹注入剤

グリーンガード[®] ファミリー

お問い合わせは最寄りの県森連・森林組合へ



サンケイ化学株式会社

大阪市淀川区西中島4丁目5番1号 Tel.(06)6305-5871

FOREST INSURANCE

森林 国営保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林

加入期間は？ 1年単位で何年でも！

保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で20億円以上の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース(1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
 保険期間…5年 保険金額…最大188万円
 一括払いだと21,225円(5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
 保険期間…5年 保険金額…最大299万円
 一括払いだと37,375円(5年間計)

1ヶ月あたり
約350円

わずか缶ビール
1本分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○ご相談は、最寄りの森林組合、県民局(森林整備課)・地域事務所(地域森林課)の窓口へどうぞ。

岡山県農林水産部治山課

電話番号 086(226)7455(直通)

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支所/津山市高尾573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山営業所/岡山市北区芳賀5325-2 TEL (086) 294-1000

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 **コニファー水和剤** 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 **バークガード** 〔野生草食獣食害防止〕 **防獣ネット**
〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕 センチュリーエース ★新発売★マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社 大同商事(株)大阪営業所
TEL.086-292-5525 TEL：06-6231-2819

緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備の総合計画

(社)岡山県治山林道協会
岡山市中区高屋225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮1849-2 TEL 0868-28-9360

林声 平成二十四年一月一日(四二二号)

編集 岡山県庁林政課内
発行人 岡山県林業改良普及協会

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材 10%+ 古紙 70%)

R70

認定番号 K0809236